



西京塾の

プログラム紹介



第1回
講座

平成17年7月26日(火)



やまぎしたかひろ

山岸孝啓氏(京都社会福祉士会会長, 吉祥ホーム施設長)を講師にお迎えし, 高齢者福祉施策の概要及び, 日常, 高齢者に接するお立場から, 人権への配慮やコミュニケーションの大切さについてお話していただきました。



第2回
講座

平成17年8月22日(月)



区内で実際に高齢者福祉に御尽力されている方々(松尾学区社会福祉協議会, 西京・介護者の会「虹の会」)から活動紹介をしていただいた後, 塾生の皆さんがメガネや重りなど装具を身に付け, 高齢者の疑似体験をしました。



第3～4回
講座

平成17年9月1日(木)～10月27日(木)

第1～2回講座での学習を踏まえ、少人数(3～5名)のグループに分かれて、西京区内の特別養護老人ホーム(京都厚生園、京都桂川園、シオンの里、西山寮、沓掛寮、まほろばの6施設)での一日体験や学区社会福祉協議会主催の「健康すこやか学級」(桂川、松尾、嵐山東、桂坂、福西の5学区)への参加を行い、第一線の現場を実際に経験しました。





第1～4回の講座を終えて、
塾生の方々に感想を
書いていただきましたので、
抜粋して御紹介します。

- 擬似体験では、自分の近未来が見えた感じがした。
- 長く生きていけば、必ず身体、精神面等の衰えを避けられない事実として受け止めないといけないのだなあとつくづく感じ、日ごろ生活する周囲の人たちの動きを見る目が変わった。
- 大げさなボランティアとかでなく、なにか新しい社会の協力者として生活ができればと強く感じた。
- ふれあいサロン(健康すこやか学級)での工作時間に見た高齢者の生き生きとした目、身体、動作は今後の我々が、年をとって生活していくうえでひとつのヒントを与えてくれているのではないかと感じた。身体を動かしてできることを取り入れることにより新しい福祉分野が開拓されるのではないかと感じた。
- 福祉施設(特別養護老人ホーム)においては、介護する方の年代構成のバランスが偏っているのを感じた。新しい分野のため、若い人が中心になるのは分かるが、言動、行動、接触方法にもう一つ配慮がなく、違和感を覚えることがあった。
- 山岸氏の話の「福祉施策の変化」は、現状を具体的にお話していただきよく分かった。
- 区内における福祉活動の事例報告を聞き、工夫しながらきめ細やかに活動されておられることに感銘を受けた。私たち未経験者には想像もつかないことに取り組んでおられることに頭が下がる。
- 民生・児童委員を仰せつかってから日が浅く、何の知識・経験もなかったので、聞くもの、見るもの、ほとんどを「勉強」しなければと思うようになった。特に現場での「体験をどう生かすか」が私の大きな宿題となり、今後、現場調査しながら実情の把握に努めたいと思った。



第5回 講座

平成17年10月31日(月)



グループに分かれて、2部構成で行いました。
第1部では、第3～4回講座での体験など、これまでの学習を振り返って、感想や意見を交換しました。
第2部では、今後、塾生自らが行う「高齢者の福祉ニーズの調査活動」へとつなげていくための意見交換を行いました。

第6回 講座

平成17年11月29日(火)

ふくとみまさき

福富昌城氏(花園大学 社会福祉学部助教授)を講師にお迎えし、高齢者の福祉ニーズ把握に向けて、調査の意義・目的や方法などについての講義と演習により、認識を深めました。

また、4つのテーマ(①高齢者一般、②虚弱高齢者、③老老介護者、④88歳以上の長寿高齢者)で、調査対象ごとにグループに分かれて、アドバイザーの方々の御指導、助言をいただき、取り組んでいくことにしました。



第7回
講座

平成17年12月13日(火)

調査活動の視点、調査対象者数、調査票作成上の留意点などを確認し、各自が考え、持ち寄った調査項目を検討・整理しました。

また、グループ内での役割分担(リーダー、調査票作成担当、集計・まとめ担当、報告書作成担当、報告会の発表者など)を決定しました。

調査票の作成については、宿題として年末までに提出することになりました。

第8回
講座

平成18年1月16日(月)

テーマ別の各グループで調査票を完成させました。共通の調査の趣旨説明や協力依頼文書を作成し、再度グループ間の共通認識を持つように意見交換しました。



訪問調査の実施、集計・分析作業(1月中旬～2月中旬)

第9回
講座

平成18年2月24日(金)

調査結果の集計・分析作業の進捗状況について各グループから報告し、情報交換するとともに、その中から見えてきた課題や提言についても話し合いました。

こうして、第10回目となる3月10日の報告会に向けて、グループごとに準備を進めました。

